



エッセイ

青いハンカチ

SCE・Net 会員 弓削 耕

E-07

発行日

2006.10.25

甲子園と国体の高校野球をとおして、早稲田実業の斉藤祐樹投手が素晴らしい、高校生離れのした落ち着いたピッチングで、2つの栄冠を勝ち得たことは、今年のスポーツ界でも大きなニュースになりました。特に駒大苫小牧の田中将大投手との3回に亘る投げ合いは手に汗を握らせるものでした。斉藤投手の柔軟さと田中投手の剛直さの組み合わせが、非常に興味ある熱戦を盛り上げてくれました。人気が出ると、野球場でのファンの人出もたいしたもので、国体では球場も狭かったのが、札止めになるほどでした、それに加えて球場外での人気も素晴らしく、空港でも、駅でも、街でも人に囲まれ、斉藤君は楽しみにしていた学校の文化祭にも出られなかったそうです。世間の人気などはたわいのないもので、何時はかなく消えるかわかりませんが、斉藤、田中両投手の戦いはまだ続くでしょうから、日本のプロ・アマの野球界を支えて欲しいものです。

斉藤君の人気を上げたのに、青いハンカチで汗を拭くことができました。汗をハンカチで拭くのは当然の仕草のように思いますが、野球の選手は袖口で汗を拭くのが多いそうです。そういえば、昔、鼻水を袖口で拭き、テカテカの上着を着ていたヤンチャ坊主をよく見かけました。青いハンカチと汗拭きが今夏の名物になりました。同じハンカチが探されましたが、もう生産はしていなかったそうで、ビジネスチャンスを失った人もいたようです。情報が直ぐに伝播する時代です、思わぬことが流行りますので、ビジネスチャンスを掴むのも容易ではありません。

また報道で斉藤君を見る限りにおいては、最近の青少年に希有な爽やかさ、礼儀正しさ、質問への受け答えに好感が持てました。最近、学校帰りにコンビニの前で遅くまで座り込んで、食べたり、飲んだりしている高校生と同じ世代なのかと不思議な気がします。これには家庭の教育、躾、生活環境が影響しているのでしょうか、斉藤君に影響されてか、田中君も、以前より多少きちんと話ができるようになりました。ただ表面的には、男子高校生としては、眉毛を細く剃っているのが気になります。これが最近の流行なのでしょうか、日本男子としては多少美しさを損なう感じをさせます。

これが今年の日本に美しさを与えた一つの出来事でした。最近のリーダーは日本を美しい国にしようと言っています。ということは、今は美しくない国だということでしょうか。確かに、ジベタリアンや山姥のような若者がコンクリートで固められた街中を彷徨し、電車内では人目憚らず化粧や携帯に熱中し、歩き煙草は吸うし、ゴミは散らかし放題、町中落書きだらけ、自分さえ都合良ければ、楽しければ、後は野となれ山となれです。新聞・TVの報道では、幼児の誘拐・殺害、家庭内の殺し合い、痴漢騒ぎは後を絶たず、模範となるべき先生がセクハラ

はするし、人を取り締まるべき警官や検事が取り締まられ、談合、汚職は絶えず、経営の倫理は薄れ、経営者は頭を上手に下げられるのが就任の条件のようです。これは、一重に教育不足によるものだと思います。教育で知力、体力をつけるのも大切で、最近はこちらの力も不足していますが、もっと大切なのは徳力で、幼児期の家庭での親の躾、小中学校での団体生活の訓練が不足しています。何も難しいことではありません、善悪を弁える、他人に迷惑をかけない、きちんと挨拶をする、「早寝早起き朝ご飯」というような基本的なことを始めるだけでかなり違って来るでしょう。

家庭や学校の教育、躾で我慢するということを学ばせていないように思います。この世の中では、多くの人が、お互いのことを尊重しながら生活していて、無人島で暮らしているわけではないのですから、電車の中でも、街中でも、車を運転していても、山登りをしていても、お互いに譲り合い、我慢しながら暮らしていくことが必要です。我慢が出来ない上に、拝金主義で、汗水流さず金を手に入れるのが偉い世界になり、少し失敗すると無力感に陥るのでは、美しい国も吹き飛んでしまいます。

日本は時々、地震、雷、台風に見舞われますが、山河が多く美しい景色に恵まれています。それを、育てるのも、壊していくのも我々です。開発を進め過ぎ、保全が不十分で、失われていくものも少なくありませんが、まだ美しい自然も沢山あります。

街に出ると、残念ながら美しさが薄れます。その一つに、携帯に振り回される茶髪が多すぎることがあります。携帯が流行り出してから、まだ10年程度でしょう、携帯電話があると、緊急時や連絡の確認には確かに便利になりましたが、46時中手放さずに眺めることはないでしょう。人々は急に忙しくなったのでしょうか。携帯に縛られるのは、一時も仲間から外れないことを確認している猿に近いと分析していた先生がおられました。10数年前を思い出して、もう少し考え深い、落ち着いた暮らしに戻りたいものです。

髪の毛を奇妙な色に染めるのは如何でしょうか、余分な薬品を髪の毛につけるのが将来的に良いことはないように思います。他人より自分を目立たせる必要のある人や、頭髪に事情のある人は分かりますが、豊かな黒髪に恵まれた人が、自分の髪を傷つけるのはどうも理解できません、頭は外見より中身を豊かにすることが重要です。日本人は世界に誇るみどりの黒髪を持っているのに、それを無くしてしまうのは全く残念です。金髪に染めても西洋人みたいな長足長軀にはなりませんし、東洋人として自慢できる特徴を失います。美しい国に住む日本人としての誇りを持って欲しいものです。少なくとも、日本を代表する大臣、女性などは誇りを捨てて欲しくないと思います。外国に行っても美しい国からきた日本人として臆することなく、黒髪で堂々と付き合いをして欲しいものです。

日本は何時までも、美しい自然を持ち、そこに住む人は美しい心を持ち続けていたいと思います。それには、教育、躾から始まり、一人一人が自覚して行うべきことは沢山あるでしょう。政治の力も必要ですが、政治家の言葉だけで作り上

げられるほど簡単なことではありません。拝金主義や自己中心主義に溺れず、昔からのよき伝統を引き継ぎ、これを育てていくことが国民に求められています。各人が心の中に美しい青いハンカチを持ち、汚れた心は直ぐ拭い、常に美しい気持ちで過ごしたいものです。

SCE・Net 弓削耕